

平成21年

1月

No. 543



広報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>



祝 満100歳 大久保文雄さん(宮内)が賀寿

12/20

大久保文雄さん(宮内)が、村の男性では2人目となる満100歳の誕生日を迎えられました。

この日、自宅で賀寿贈呈が行なわれ、福島県から知事賀寿と記念品、村から、記念樹「ハナミズキ」の目録と報奨金、続いて、村老人クラブ連合会、村社会福祉協議会、宮内行政区、宮内老人クラブからそれぞれ賀寿や記念品が贈られました。

大久保さんは、子どもが5人、孫が8人、ひ孫が11人、玄孫(やしゃご)が2人おり、お孫さんやひ孫さんからお祝いの花束が贈られると、にこやかに花束を受け取り、集まった親族らや地域住民とともに、笑顔で誕生日を祝っていました。



大いなる田舎 まていうイフ・いいたて

新春のごあいさつ



飯舘村長
菅野 典雄

新年明けましておめでとうございます。

月日の経つのは早いもので、また新しい年を迎えることになりました。世界の同時不況の中で、村も大なり小なり影響のあるところです。皆様のご家庭ではいかばかりかと大変案じているところで、今年こそは、皆様にとってより良い一年でありますよう心より念じています。

さて、「までいライフ」計画の4年目の昨年は、健康づくり推進で厚生労働大臣賞、地産地消や食育推進で文部科学大臣賞（給食センター）、さらに前田行政区が豊かな村づくり顕彰事業で東北農政局長賞を受賞するという年でした。これらはすべて村民の皆様がそれぞれの立場で努力していただいた賜物であります。

また、賞などという形にはありませんが、一年間区長さんを中心にご多くの方が、村づくりにあらゆる面でご協力や「協働」していただいたことは、賞以上の価値のあるものでした。あらためて皆様の活動に心より御礼を申し上げます。

新春のごあいさつ



飯舘村議会議長
北原 昇

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、ご家族お揃いにて輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

これは、皆様も同じであろうと思います。新年というのは気持ちも新しくなり、おのずと夢や希望が沸いてきます。今年も、村民の皆様にとりまして希望に満ちた最良の年でありますよう念ずるものであります。

さて、昨年の飯舘村は台風の襲来もなく、秋に一時低温が続いたものの、村民の皆様のご努力によりまして、ある程度の成果のあった年であったと思います。

しかしながら世界的な原油高に端を発し、村内商工業はもとより農業畜産あらゆる分野に影響を及ぼし、光の見えない状況が続く憂慮すべきところであります。

また、国家施策である三位一体及び行財政の改革の「うねり」が地方の財政を圧迫しております。わが村のように自主財源の乏しい村にとっては非常に厳しいわけですが、村の半世紀の歩みを振り返るとともに、これからの村勢発展に一層の創意と工夫を凝らし、努力して

さらに小学生の「人のやさしさ みーつけた」事業や中学生の「やったね 実行委員会」、飯舘校生のヘルパー資格取得、青年の方に村の事業を担っていただいたりと、次世代を背負う方々の活躍が大変顕著な年でもあり、村の将来に明るさを灯していただいた年でもあったと感じています。

平成21年は、「までいライフ」10年計画の5年目の年となります。村の将来を見据えて、施策や事業をしっかりと進めていかねばならぬ大事な年であります。20年ほど前から村の懸案でありました統合診療所建設も今年の事業です。地域農業の活性化をはじめ、産業・福祉・教育・コミュニティづくりなど、多岐にわたる分野の事業展開に情報網の整備も計画しています。昨年支援させていただきました菊池製作所の工場増設や、いいたてホームの増床による雇用の確保もまもなくであります。

飯舘村ですが、小さな自治体ゆえ大変な面は多々あります。しかし、目に見え声の届く中で小回りを利かせ、思いやりの行政ができるといふ利点もあるわけですから、そのようなことに一層心して、行政を進めていきたいと考えているところです。

今年も各種の事業を計画していますが、できるだけ村民の声を反映させ、議会とも十分なる討議を持ち、少しでも住みよい村に近づけるよう最大の努力を傾注する覚悟ですので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年一年、皆様のご家庭にさらなる幸せが訪れ、健やかな年になりますよう心よりお祈り致しまして、平成21年の新年に当たってのごあいさつとします。

いかなければならないと思っております。

我が村も自立の道を選択し、「新たな出発（たびだち）プラン」のもと、村民参加と協働の村づくりが着々と定着してきております。これもひとえに村民の皆様方のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝を申し上げる所でございます。しかしながら、財政の厳しさが増す中で、住民と行政が役割を再認識し、それぞれ担うべきことを推進していかなければならないと思っております。

自然環境をはじめ厳しい面もありますが、村民の皆様が住んで良かったと本音で言える、豊かで潤いのある村に一步でも近づける年にと念じているところであります。自立計画が具体化するにつれ、今後は村民の負担及び我慢が避けては通れないと思います。これらを克服するには村民の生産基盤の整備の向上、つまり商工業への支援や雇用の場の確保、農業においては自主自立の村ならではの支援策の存続拡大が重要であると考えます。

また、高齢者が元気で暮らせる福祉施策及び少子化社会への対策、生涯学習の充実を図るとともに行財政改革の断行等健全な村づくりに努めてまいりたいと考えております。

議会と致しましても、村民の皆様との連携を一層密にし、村勢進展のためさらに努力をしてまいれる所存であります。

以上のことを基本として、自立の村づくりの中で村民の生活と幸せを守るため、今年も活発な議会活動を進めてまいります。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。